



はやま



平成27年(2015年)

8月号

No.545

特集

戦後70年、戦争と葉山

| | | |
|------------------|----------------|------------------|
| 戦後70年、戦争と葉山 … 2 | 教育委員会だより … 12 | 葉山町文化祭 … 20 |
| 人事行政運営等の状況 … 6 | 町からのご案内 … 14 | ごみと資源物の分け方 … 21 |
| 子育てひろば … 8 | でんごんばん … 16 | 葉山いろいろ写真館 … 22 |
| 健康情報、医療機関一覧 … 10 | 救急情報カードなど … 18 | 町長コラム、近代美術館 … 23 |

表紙：「だるまさんがころんだ」で遊ぶ子どもたち（花の木公園）

戦争と葉山



なんの写真かわかりますか？

※ヒントは大砲（答えは文中に）

8月15日は「終戦の日」です。全国で戦没者追悼式が開かれ、今日の平和を築き上げた先人たちに感謝する日としています。

太平洋戦争というと、東京大空襲や広島と長崎への原爆投下、沖縄戦などが凄惨な過去として取り上げられ、葉山町から遠いところで起こったような印象を持つ人も少なくないでしょう。しかし町にも多くの戦争犠牲者がいます。

上の写真は二子山に作られた「高角砲台（敵の航空機を撃墜するための大砲を置く台）」の跡です。実際に横須賀軍港が空襲をうけた際、この高角砲台が使用され、敵機を撃墜したと言われています。

このように、戦争は遠いところで起きたことではなく、皆さんのご親族や周りの人が経験した事実なのです。戦後70年、もう一度戦争を振り返り、今ある生活に感謝することを考えてみてはいかがでしょうか。

1941

太平洋戦争の勃発

1942

日本本土初空襲
長者ヶ崎バス停山側
と大崩側に対軍艦の
砲台設置

1943

海軍省施設部の一部
が長柄に移転開始

1944

学徒動員令
海軍横須賀警備隊が
二子山高角砲台や葉
山高角砲台を完成

1945

横須賀軍港が空襲を
うける。二子山・葉山
高角砲台が敵機の撃
墜を報告

8.6 広島に原爆投下

8.9 長崎に原爆投下

8.15 終戦

戦後70年、

今月の特集

広報はやま00月号

終戦から今年で70年。

大規模な被害がなかった葉山町にも、戦争の跡はあります。

戦争の悲惨さを忘れてはいけません。

もう二度と戦争が起きないように伝えていかななくてはならない。

今月は戦争と葉山、そして平和について考えます。

interview

生きるだけで精一杯

葉山町で戦争による大きな被害はありませんでしたが、空をB29が飛んでいく姿は今も目に焼きついています。平塚空襲は、海を越えて炎が見えたほど。小学校の授業中も、何度も空襲警報のサイレンが鳴る。今日を生きること、一杯で、将来の夢を持つとか、今では当たり前のことも出来なかった時代でした。

戦争がやっと終わった

70年前の8月15日、母から

「今日は必ず昼までには帰るよ」と言われました。そして母と兄弟とラジオの前に座り、玉音放送を聴いたので。難しい言葉の意味はよくわかりませんが、「日本が負けた」というよりも「戦争がやっと終わった」ことへの安心感の方が大きかった。

その後1年ほどして白い箱が送られてきました。父の遺骨、父が戦死したと知らされたんです。戦後、母はニコヨン（日給240円の日雇い労働）で土木作業などの仕事もしていましたから、自分も早

く自立して家計を助けたい、そう思いました。

戦争犠牲者によって

こんなにも平和で豊かな世の中が来るとは思ってもみませんでした。しかし豊かな生活の背景には、300万人以上の戦争犠牲者やその後の発展に力を入れた過去の人々がいたからです。戦後70年が経ち、戦争体験者の話を聞ける機会は減ってきています。だからこそ今後も、子どもや若者に戦争の記憶を伝える活動を続けていきます。



葉山町遺族会

森 正弘 会長

戦争被害を風化させないため、遺族会の活動をしている森さん。この記事きっかけに、家族で戦争について話し合う機会を持ってもらいたいと話します。

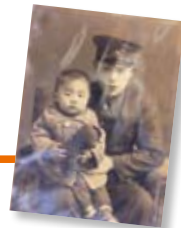
平和へと一歩ずつ。。。



平和の気持ちを後世へ

背戸一登さん夫妻

戦時中・戦後を広島県尾道市で過ごし、約40年前に葉山へ来た背戸さん。出兵した父親が残した軍隊手帳などを大切に保管されています。



3歳で父と離れて

昭和16年、私が3歳だった頃に父は出兵しました。そしてその3年後に肺結核を患って傷痍軍人となり帰国、陸軍病院で亡くなりました。そのため、父の記憶は軍服を着た写真の印象ばかりです。

残してくれたもの

遺品の中には軍隊手帳や軍人傷痕記章などがありました。どこの戦地に行ったのか、何をしていたのかが記されたものです。残されたものを見ると、父の姿を想像することがができます。また、出兵によって完成できなかった船舶エンジンの設計図を見たことがきっかけで、父と同じ設計の道を目指すことを決めました。



▲ 歴史を学べる貴重な史料です

後世へ残すために

戦後は食べるものがなくてサツマイモのツルを分けてほしいと頼まれたことも。でもそんな貧しさも今の豊かな日本では忘れてしまいがちです。しかし父が残してくれたものを後世に引き継ぐことで、忘れないでいられるんです。これからも平和をつないでいけるよう、多くの人に伝えていけたらと思います。

映画上映 『ひめゆりの塔』

今年で3回目となる葉山町遺族会が主催する映画上映会です。

日時 9月12日(土) 13時

場所 福祉文化会館

内容 『ひめゆりの塔』国内唯一の住民を戦闘に巻き込んだ地上戦となった沖縄戦。そこで学生ながら看護活動にあたった「ひめゆり学徒隊」の悲劇を描いた映画です。

費用 無料

問合せ 葉山町遺族会 ☎ 875 - 0920 (森)



©1982 東宝

平和に関する町のお知らせ

皆さんがそれぞれ思う「平和の気持ち」を形にしたり、行動したり、学んだりすることができるよう、町では様々な平和事業を行っています。友人と、家族と参加してみるのはいかがでしょうか。

原爆死没者の慰霊

昭和20年8月6日8時15分に広島、9日11時2分に長崎へ原子爆弾が投下され、今年で70年目を迎えます。このような悲劇が二度と繰り返されないよう、原爆投下時刻に黙とうを捧げましょう。



終戦の日の戦没者追悼

8月15日には、全国戦没者追悼式にあわせ、慰霊塔で半旗を掲揚し、正午から戦没者の冥福を祈って1分間の黙とうを捧げます（サイレンは消防本部のみ）。皆さんも職場や家庭での黙とうにご参加ください。

平和標語コンクール

町在住在学の中学生を対象に、非核・平和に関する標語を募集しています。昨年は40作品の応募があり、そのうち8人が入賞されました（昨年の金賞作品「葉を育て 山を守り 海と暮らす 未来に残す 平和の町」（南郷中学3年 鈴木 嘉人さん）。

15回目の開催となる今回は、入賞作品を広報はやまや町HPに掲載する予定です。

テーマ 非核や平和、人権のどれかに関するもの（言いやすく、聞きやすければ五七五でなくてもかまいません）

申込み 町役場や図書館にある応募用紙を政策課まで郵送か持参してください。

※町立中学校は学校で配布・回収します。

問合せ 政策課 ☎内線 335 締切 9月9日（水）

非核平和都市宣言

議会在昭和58年3月22日に、町が平成4年11月1日に非核平和都市宣言をしています。

平和首長会議

さらなる平和を願い、平成24年度より「平和首長会議」へ加盟しています。

沖縄へ慰霊訪問

南方諸地域の戦没者を追悼するため沖縄県に建てられた「神奈川の塔」建立50周年で、昨年11月に町長が沖縄へ訪問しました。

反核平和マラソン・核兵器廃絶平和行進など

葉山町では、神奈川反核平和マラソンや核兵器廃絶平和行進の中継地点となり、激励メッセージや賛助金などの支援をしています。

